

日光川水系河川改修事業 の整備促進に関する

要 望 書



日光川水系改修促進期成同盟会

要 望 書

日光川は、愛知県西部に位置し、河川延長約 4 1 k m、流域面積約 3 0 0 k m²の**県内最大の二級河川**であります。

流域は、名古屋市を含む 9 市 2 町 1 村に跨り**人口約 1 0 0 万人**を有しておりますが、流域の約 3 分の 2 は雨水排水をポンプ排水に頼らざるを得ず、加えて、下流部は**国内最大の海拔ゼロメートル以下地帯**の中央に位置していることから、洪水や高潮に対して脆弱な地域であります。

昭和 3 4 年の**伊勢湾台風**では、異常な高潮・波浪により堤防が決壊し、多くの人命が失われ、被災後も長期の湛水が続くなど、壊滅的な被害が発生しました。

また、近い将来、発生が危惧されている**南海トラフ地震**においても甚大な被害が想定されており、生活や産業、交通インフラの壊滅的な被害の影響は当流域のみならず全国に広がる恐れがあります。

こうした中、当流域の治水の要である**日光川水閘門**は、伊勢湾台風の復旧事業による建設から 5 0 年以上を経て老朽化が著しく、その改築は喫緊の課題でありましたが、愛知県により新たな水閘門の建設事業が進められ、平成 3 0 年 3 月に完成し、供用開始されました。引き続き、洪水の流下阻害となっている旧水閘門の速やかな撤去をお願いします。

また、日光川本川では治水上ネックとなっている J R 関西本線橋梁を始めとする橋梁改築を始め、河床掘削、築堤、護岸整備など、引き続き**河川改修事業の促進**が重要であります。

さらには、福田川や蟹江川などの日光川支川でも、流下能力不足や流水阻害を解消するための河川改修が重要です。

一方、発生が危惧されている南海トラフ地震においては、堤防の沈下・崩壊に伴う広範囲な浸水被害が想定されることから、**河川堤防の耐震対策の推進**、とりわけ日光川本川の堤防耐震対策の強化が急務となっております。また、日光川排水機場を始めとする排水機場や水門の耐震対策も不可欠です。

日光川上流域では、床上・床下浸水の対策として、1 号放

水路と2号放水路の計画に加え、遊水地の整備が位置付けられており、先ずは、**2号放水路と遊水地の事業推進**が不可欠であります。

さらに、日光川流域は高潮など外潮位が高い際には、河口のポンプ排水に頼らざるを得ない地域であるため、**日光川河口に排水機場を増設し**、さらなる機能強化が求められます。

確実な河川の改修は当流域の生命・財産を守り、安心・安全な社会の形成、ひいては本県並びに我が国の持続的な発展に寄与することが見込まれます。

つきましては、流域治水の取組みを着実に推進するため、「**防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策**」が計画的に執行できる予算の確保をするとともに、5か年加速化対策後も、**予算・財源を通常予算とは別枠で確保して継続的な取組**に特段のご配慮を賜りますよう、流域の住民を代表して、次の事項について要望申し上げます。

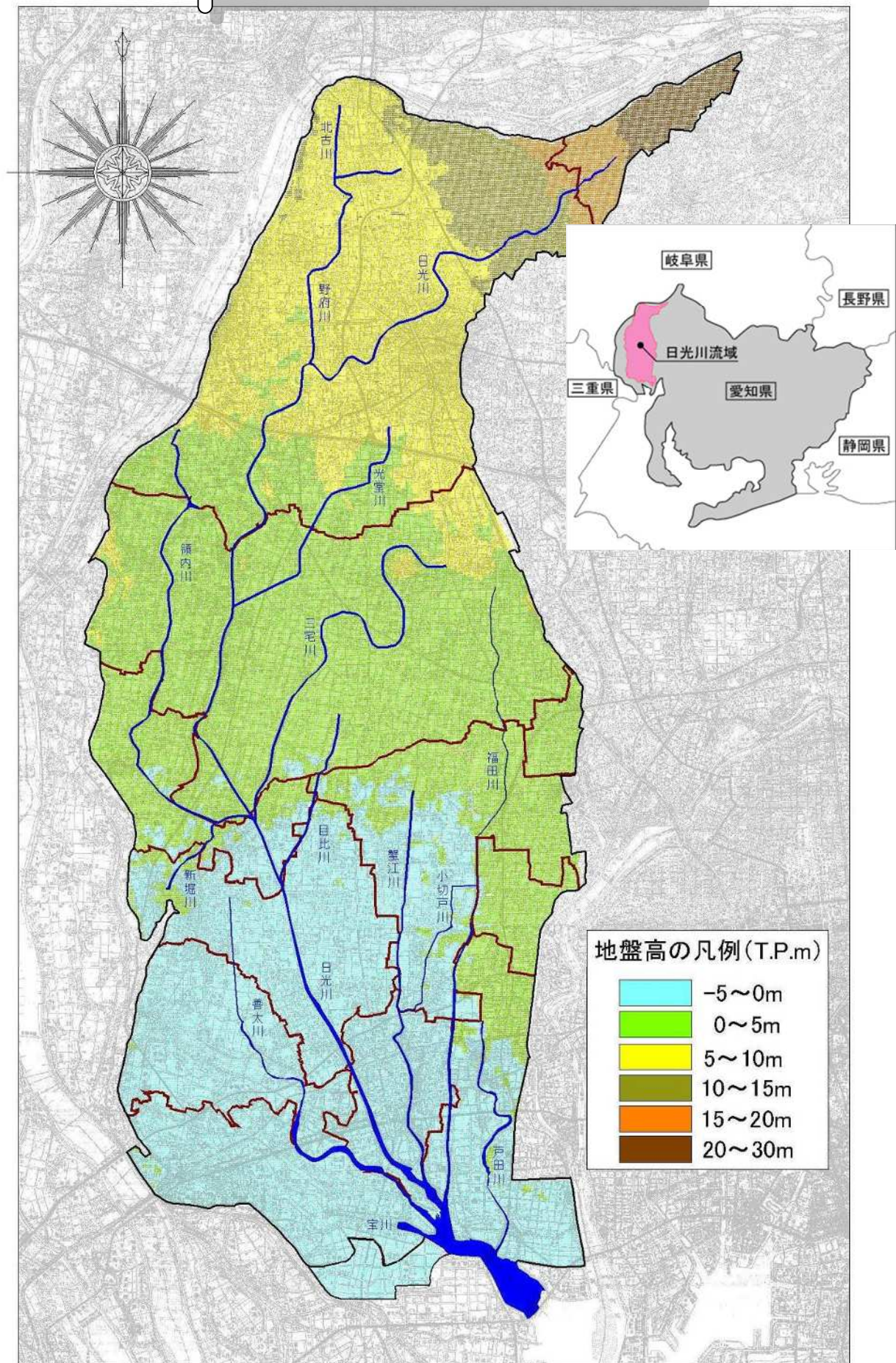
記

1. 日光川水系において、JR関西本線橋梁の改築を始めとする河川改修事業及び河川施設の耐震対策を推進すること。とりわけ、緊急的に対策が必要な地震津波対策について、短期間に集中的な事業推進が図れるよう、重点配分すること。
2. 日光川2号放水路について、事業促進を図ること。
3. 日光川河口に排水機場の増設を図ること。
4. 日光川上流域の遊水地について、事業促進を図ること。

令和7年1月

日光川水系改修促進期成同盟会
会 長 飛島村長 加藤光彦

日光川水系 流域図



地盤高の凡例 (T.P.m)

	-5~0m
	0~5m
	5~10m
	10~15m
	15~20m
	20~30m

2000 0 1000 2000 4000 6000m